

沖ノ島島内の原始林

一般の人々が沖ノ島を訪れることは許可されていないため、沖津宮や古代の祭場の自然環境を感じ取ることは困難です。島全体が神の住処として神聖なものと考えられ崇拝されているため、地元の禁忌は島内から石や小枝や葉までも持ち出すことを禁じています。訪問者は、ここで崇拝を行う神職と社殿の保全に協力する漁師のみです。これらの理由により、島を覆う森林も実質的に手つかずで、その土地の野鳥や昆虫にとって貴重な保護区となっています。原始林を考慮して、島全体が国の天然記念物に指定されています。島の手つかずの自然を鑑賞するには海の道むなかた館を訪れ、沖ノ島で撮影された写真やビデオを見てください。